

フォトニュース

いなぼう 東京で猪名川町をPR



▲12月3日・同4日に東京で開催された全国約250町村の特産品などを一堂に集めた物産イベント「町イチ!村イチ! 2011 町村から日本を元気にする」に、猪名川町・いなぼう・道の駅いながわが参加しました。いなぼうは会場のステージや入口、出口でお客様に猪名川町をPRしました。

秋のクリーンアップ作戦実施!



▲秋の環境美化週間中の11月20日に、町内あけてクリーンアップ作戦が実施されました。この日は、町内各地で自治会を中心に各種団体などが参加し、「自分達でまちを美しくしよう」とゴミ袋やほうきなどを片手に、公園や道路沿いを清掃しました。
おかげで町は、あっという間に美しくきれいになりました。

▶町国際交流協会では、11月30日～12月13日までの14日間、姉妹都市オーストラリア・バララット市から、高校生2人を受け入れました。
期間中は、ホストファミリー宅に滞在し、町内の学校や施設を訪問。国際交流パーティ&ウェルカムパーティなどに参加し交流を深める一方、生け花や茶道など日本文化を体験しました。

ようこそ 猪名川町へ



新名神高速道路の建設事業にともなって、猪名川町内でも兵庫県立考古博物館による埋蔵文化財の調査が行われています。過日、広根で現地説明会が開催されました。
広根地区は、古代から栄えた記録のある所ですが、今回の発掘調査で縄文時代を始めとする様々な時代の生活の跡が見つかりました。縄文時代の土器や石器、古墳時代、奈良時代頃の土器や石敷遺構、平安時代の掘立柱建物跡や鍛冶跡、鎌倉時代の水田跡などです。
遺物では、緑釉陶器や鎌倉時代の牛の鼻輪なども見つかったっており、遺構とともにそれぞれの時代の人々の生活を偲ばせてくれます。

町内の建設用地では今後も調査が続きます。また新たな発見の可能性も期待できるでしょう。
「広根遺跡」の発掘成果は、来年の3～4月頃に兵庫県立考古博物館(加古郡播磨町大中1の1の1)で展示される予定です。



◀建物跡柱穴(平安時代)

人権についてみんなで学びました



人権を考える町民のつどい
主催：猪名川町、猪名川町教育委員会、猪名川町人権・商標教育研究協議会

▼12月1日に、道の駅いながわの地域農業情報センターに設置された薪ストーブの火入れ式を行いました。
本町では、放置された山林を、管理が行き届き景観にも優れた里山として再生し、後世に残していこうと今年8月に里山再生基本構想および実行プログラムを策定しました。
その具体的な事業の一つとして、薪ストーブを設置することにより、伐採木や木材の利用方法の一例として展示・PRすることで、里山と人の関係を見直し、現代社会における里山と人との関わりを築いていこうとするものです。



▲12月3日、社会福祉会館で「人権を考える町民のつどい」を開催しました。
人権啓発を目的として募集した「標語・絵手紙・習字」の入選作品の表彰に続き、徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局の中倉茂樹さんから「ぬくもりを感じて」をテーマに講演が行われ、同和問題についてわかりやすく学ぶことができました。

▼剣道で培われた剛気で真摯に対峙した流麗優美な快筆。
林 明穂さん(2年)

二年
林 明穂
明月流素光



中谷中学校



▲細かな表現を行い丁寧に仕上げることができました。
森本 涼くん(2年)

◀立体感を意識し、色や形を考えることができました。
北村 明日香さん(2年)

▼自然に対する真っ直ぐな気持ちが表れた作品です。
森 ふみかさん(3年)

三年
森 ふみか
自然の保護